

総合的な2R戦略の展開（制度化も視野に入れた、総合的な2R戦略策定に向けた調査・検討等）

39百万円（51百万円）

廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室
企画課リサイクル推進室

1. 事業の必要性・概要

3Rの取組全体については、第三次循環型社会形成推進基本計画（平成25年5月閣議決定）で掲げた我が国の物質フローに関する指標は目標に向けて順調に推移。しかしながら、今後、世界全体で資源制約が強まると予想される中、質の面での取組が不十分なところ。

このため、同基本計画においては、3Rのうちリサイクルに比べて優先度が高い一方、取組の遅れている2R（リデュース、リユース）がより進む経済社会システムの構築を今後の主要課題として位置づけている。

本事業は、上記に鑑み、制度検討を視野に置きつつ、2Rを切り口とする持続可能な新しいビジネスモデルの構築を図るモデル事業を含んだ、2Rについての取組を総合的・戦略的に展開しようとするもの。

2. 事業計画（業務内容）

ア 制度化も視野に入れた、総合的な2R戦略策定に向けた調査・検討

<13百万円（15百万円）>

イ 経済・社会に2Rが定着することを目指した、2Rモデル実証事業

<21百万円（30百万円）>

ウ 2Rを中心に3Rの環境負荷削減効果を見える化するツールの充実・普及

<5百万円（6百万円）>

3. 施策の効果

リサイクルの制度化が進んでいない製品、業界等に係る2Rの取組の課題及び成功例を調査・検討することで、民間の自主努力では解決しがたい課題が明らかとなり、制度整備につなげることが可能となる。また、成功の要因等を分析・公表することで、先行事例の他への普及が容易となる。

あわせて、現代の消費ニーズに合わせた地域興しや観光の観点を含めた新たな2Rビジネスを実証事業として行うことで、ビジネスとしての2R事業が持続可能な形で定着させることを検討する。

加えて、3Rに資する行動を取ることの環境負荷削減効果（CO₂の削減効果等）を事業者・消費者が認知し、その事業活動・消費行動が変化することにより、実行レベルで循環型社会と低炭素社会の実現に向けた統合的取組が進展する。

総合的な2R戦略の展開(制度化も視野に入れた、総合的な2R戦略策定に向けた調査・検討等)

支出予定先:民間団体等 平成26年度予算(案)額:39百万円(51百万円)

- 課題**
- 3Rの取組全体は、第二次循環基本計画で掲げた目標指標の達成に向け順調に推移中。
 - 他方、取組を個別に検討すると、リサイクルに比べ優先度の高いリデュース、リユースの取組には遅れ。
 - このため、第三次循環基本計画において2Rが進む経済社会システムの構築を主要課題として位置づけ。

事業目的 ➢上記の課題に鑑み、2Rの取組を広く経済・社会に定着させるため、制度的な検討や2Rを切り口とした新たな持続可能なビジネスモデルとするためのモデル事業を含めた総合的な戦略展開を実施。

事業 1

各リサイクル法等の制度化が進んでいない製品、業界等に係る2Rの取組の課題及び成功例を調査・検討。



- 民間の自主努力では解決しがたい制度的課題を明らかにし、将来的な制度整備に道筋。
- また、成功の要因等を分析・公表することで、先行事例の他への普及が容易に。

事業 2

自治体や事業者等の関係者が地域内でのリユースを促進するための実証事業や、リユース促進のための調査、普及啓発などを実施。



- 地域の特性を活かしたリユースシステムの効果の検証をする。
- リユース実施による環境負荷の変動等の効果を実証し、他地域への普及を図る。
- 実態調査などを実施することでリユース促進策を明確化。

事業 3

3Rに資する行動を取る際の環境負荷削減効果(CO2の削減効果等)を“見える化”するツールを小売事業者等で実施・普及



- 事業3Rに資する行動の環境負荷削減効果を事業者・消費者が認知し、その事業活動・消費行動が変化。
- 実行レベルで循環型社会と低炭素社会の実現に向けた統合的取組が進展。

ノントレー
なら

家族も笑顔。
地球も笑顔。

保存もカンタン、かさばらない。

ノントレー商品は、お買い物を時も運びがラク!家で、そのままストックリユース保存できる!

ゴミを減らして、CO2も減らせる。

ノントレー商品は、ゴミ削減もCO2削減もできる!CO2も減って地球にやさしい!

※1家庭(平均2人)1年間の削減効果

削減前	削減後
ゴミ袋(CO2)	9削減/年
1.35kg	